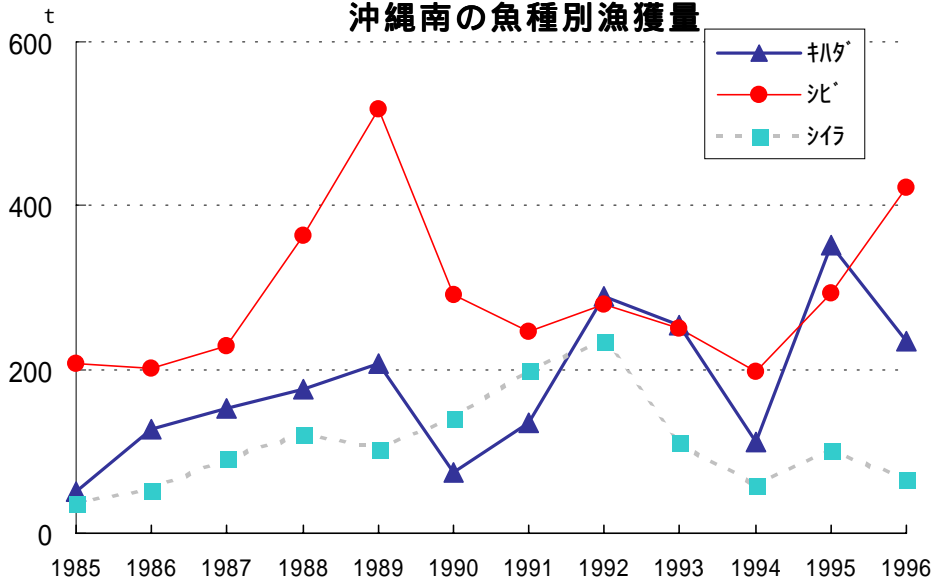


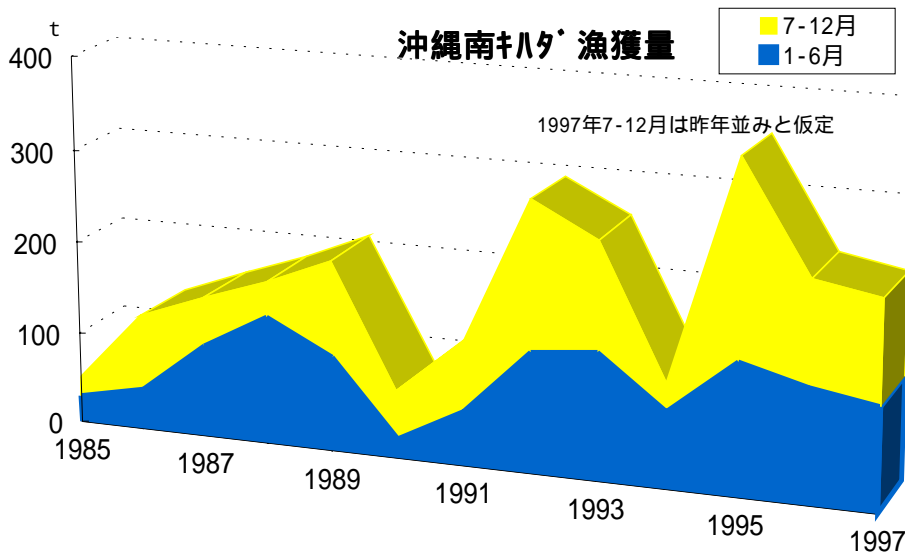
沖縄本島南方海域のパヤオに出漁する糸満漁協、港川漁協、知念漁協、沖縄市漁協のパヤオ漁の漁獲量を整理しました。その結果、パヤオ漁の主要な対象魚であるキハダ(10kg以上)、シビ(10kg未満)の1997年6月までの漁獲は、昨年と同じ程度からやや少なめでした。

沖縄南の魚種別漁獲量



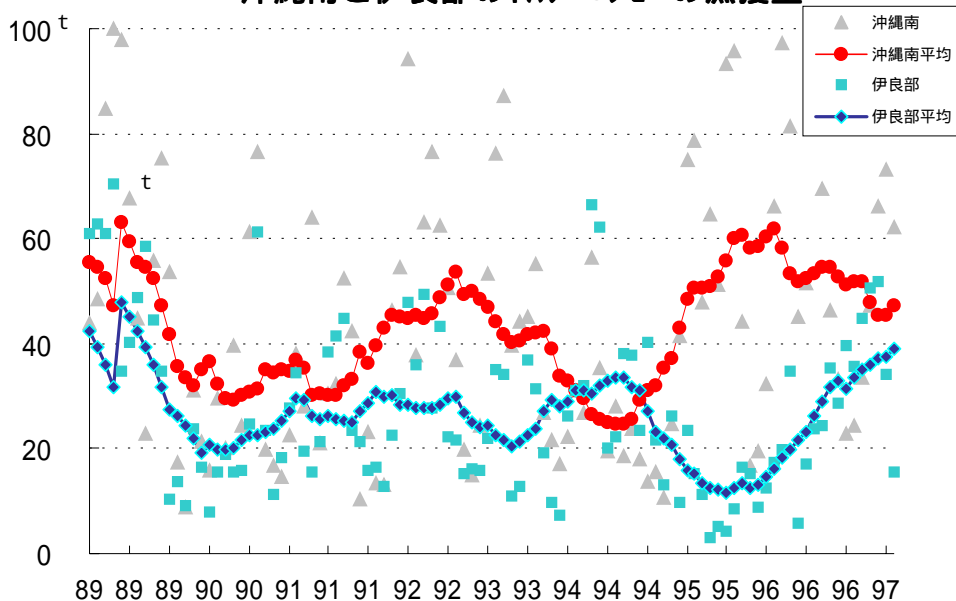
キハダの漁獲量は、1989年まで順調に伸びてきましたが、1990年は不漁でした。1994年も不漁でしたが、一昨年、昨年は好漁でした。シビの漁獲量は、1989年と昨年が好漁でした。シビの漁獲量は、1989年と昨年が好漁でした。シラの漁獲量は、1992年まで急激に増加しましたが、その後は低調です。

沖縄南キハダ漁獲量



沖縄本島南部海域のキハダの漁獲は、春と秋の年2回ピークがあります。1990年は春、1994年は秋に不漁でした。全般に春が良いときは秋も良いので、今年の漁獲量は、昨年並みかやや少なくなると予想されます。

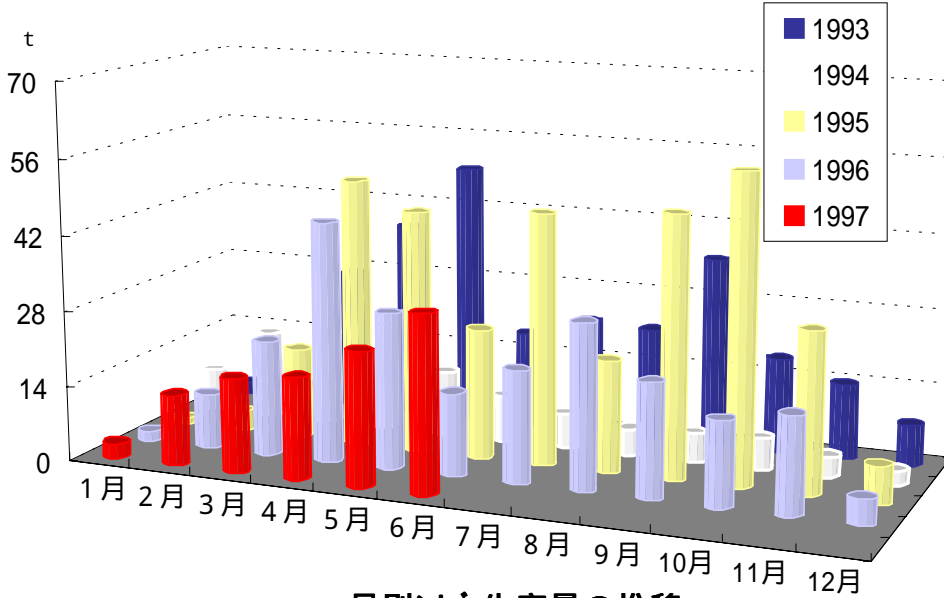
沖縄南と伊良部のキハダ+シビの漁獲量



伊良部漁協のキハダとシビの漁獲量の動向と比べてみますと、1991年までは似た傾向を示していましたが、その後は、伊良部が悪いとき沖縄南がよくなる傾向を示しています。

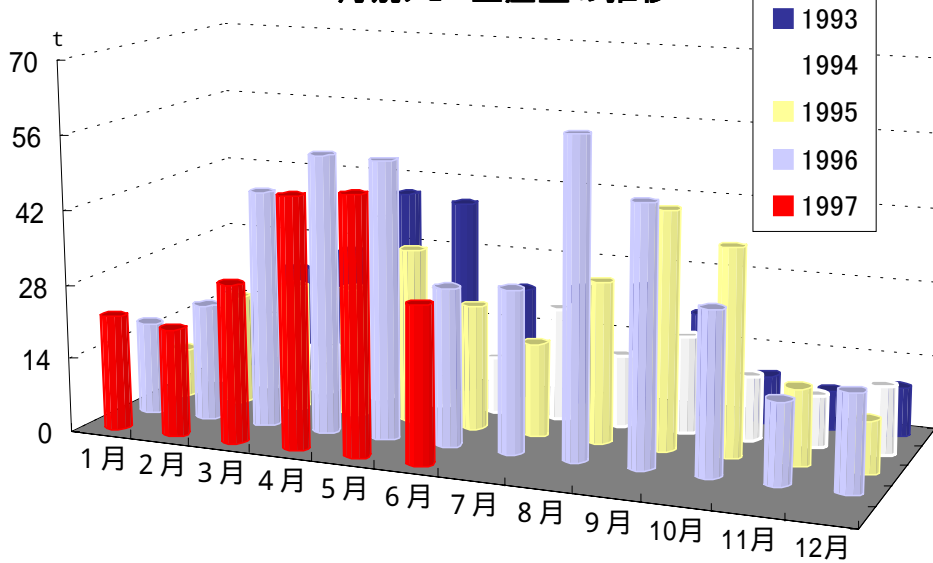


月別キハダ生産量の推移



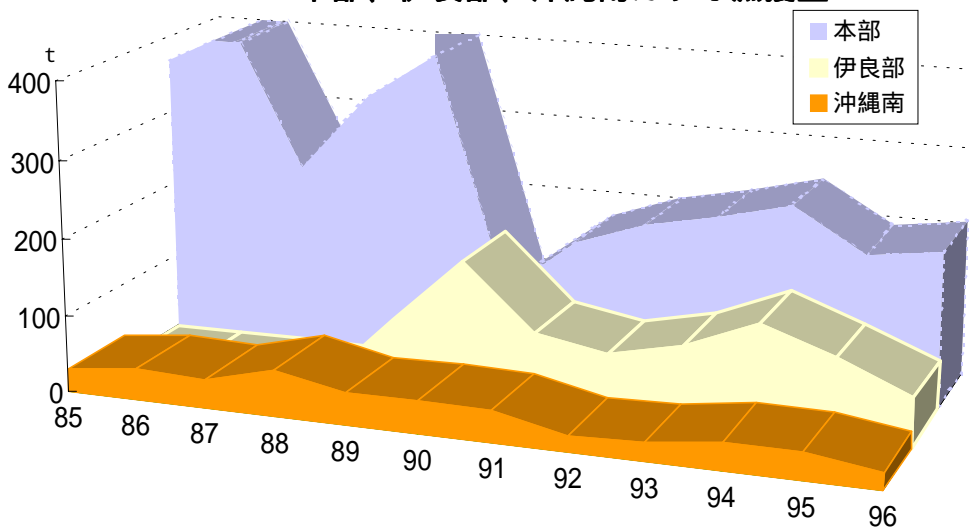
キハダの漁獲量は、4、5月と8、9月がピークになることが多いようです。一昨年(1995)はとても好調でした。昨年は、一昨年よりは悪いものの比較的好調でした。今年は、5月まではあまり良くありませんでしたが、6月は好調でした。

月別シイラ生産量の推移



シイラの漁獲量は月による差が少なく、周年漁獲されていますが、3月~10月に多いようです。昨年はとても好調でした。今年も6月までは好調のようです。

本部、伊良部、沖縄南カツオ漁獲量



沖縄南のパヤオでは、カツオを主対象にしません。本部や伊良部ではよく釣れています。本部は、90年に急に漁獲量が減った後は、やや増加傾向にあります。伊良部の漁獲量は、90年以降大きく変動しています。